

子どもはみんな問題児 / 中川李枝子著より

「ぐりとぐらの生みの親が贈る心がほぐれるメッセージ」

子育てワンポイント 励ましのことば29

バックナンバーはHPからご覧頂けます

「読み聞かせ」ではなく 子どもと一緒に読む

私はいつも、子どもと一緒に絵本を読みましょう!と
言っています。読み聞かせという言葉には、「読んで
聞かせる」「言って聞かせる」という感じがあって、好き
になれない。そこで「子どもと一緒に読む」と表現します。



保育園で17年間、いろいろな子どもとつきあいましたが、絵本や物語の嫌いな子どもはひとりもいませんでした。もし嫌いな子がいるとしたら、大人の与え方が下手だったので主。よほどつまらない本をあげがわれ、うんざりしてしまったりとか。子どもはもともと絵本や物語が大好きです。

本を読んでもらうときの子ども表情は、素直で、無邪気で、かわいいに尽きます。子どもが喜ぶとお母さんも嬉しいでしょう。お母さんがうれしいと子どもも嬉しい。お母さんがワクワクすると子どももワクワクする。お母さんがしんみりするとしんみりする。

お母さん(あるいはお父さん)といっしょの楽しいひとときは、人生で一番大切な時であり、人生の原点でしょう。その後、大きくなるにつれていろいろ厄介なことがやって来るのですが、それに耐える力や乗り切る力は、幼児期が幸せであればあるほど強くなるに違いありません。

素敵なエッセイ集をほぼそのまま引用させて頂きました。「ぐりとぐら」の生みの親である中川李枝子さん、「子どもと一緒に読む」を大切にしていってらっしゃることに感動です。親が与え子どもが受け取る…教室型でなく、一緒に読んで一緒にワクワクするスタイルを大事にしつつ、今週も愛を込めて、一日を大切に過ごしたいものです。 牧師 倉知契

God is good all the time!

瀬戸カルバリーチャペル

「子育てワンポイント」バックナンバーは、HPからご覧頂けます。

主日礼拝と木曜祈禱会を YouTube で配信中!

